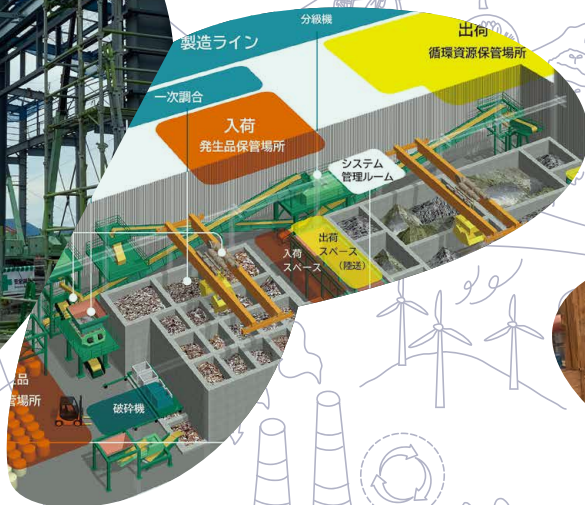
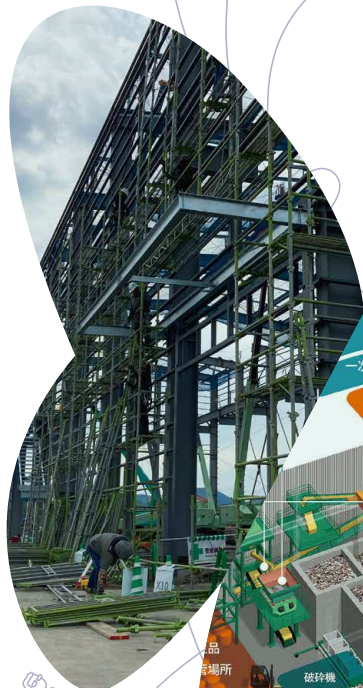


アミタグループの描く「未来」をステークホルダーの皆様にお届けします

未来デザイン 通信

2025
秋



AMITA

経済大国から循環大国へ ― 変化の時代にこそ、未来を描き、挑戦を加速する

アミタグループの2025年度第2四半期連結累計期間の決算は、サステナビリティ経営支援サービスの需要拡大を背景に、売上高・営業利益が前期比で増加し堅調に推移しました。為替差損など一時的な要因により経常利益・純利益は減少しましたが、持分法投資利益の増加など、中長期的な成長基盤は着実に強化されています。

上期は、啓蒙・広報から営業・販売までを一体化させた横断的な営業連携を推進し、インバウンドマーケティングの強化に取り組みました。加えて、子会社のアミタ(株)は、三井住友ファイナンス&リース(株)やアビームコンサルティング(株)等と連携し、新サービス「Circular Co-Evolution」の提供を開始。また、循環資源製造所のスマートファクトリー化や海外プロジェクトの推進など、次なる成長に向けた基盤づくりを進展させています。

日本は経済大国であると同時に、少子高齢化や人口減少、社会制度の疲弊、孤独の蔓延など、他国に先駆けて近代の誤作動に直面している課題先進国でもあります。アミタグループは、社会課題の根本原因は人々の「無関心」にあると考え、無関心に関心に変えることで、この国を「循環大国」へと進化させることに挑戦しています。

資源や価値をめぐらせて地域やコミュニティを育む「循環」と、多様な人々や関心を失ったモノを排除せず、誰もが参加できる社会をデザインする「包摂」の視点を掛け合わせることで、持続的かつ包括的な社会を実現するメカニズムを構築します。

いま世界では、生成AIの急速な進展により、価値創造のパラダイムが根本から変わり始めています。特に2025年8月に登場したChatGPT 5.0により、複数のAIエージェントが連携・協働して課題を解決する「マルチエージェントAI」時代の幕が開きました。これにより、単独のAIが個別に動作する従来型とは異なり、複数のAIが互いに情報をやり取りしながら、より高度で柔軟な意思決定や問題解決を図ることが可能になります。AIは単なる効率化の手段を超え、人間の思考を拡張し、多様な知を結び合わせて新しい社会的価値を共創するフェーズに入ったと言えるのです。

アミタグループは、こうした時代変化を先取りし、循環資源の製造・提供においては、業務のDX化やAI活用による新たな資源開発、資源製造プロセスの効率化・高度化、脱炭素対応等を加速することを発表(本年2/28)。現在は中長期計画に基づき、複数のサービス分野において、マルチエージェントAIを含む先端技術を活用した次世代型サービスモデルの開発に挑んでいます。

急速に変化し続けるこの時代に、アミタは関係性を軸に、時流を読み運気と呼び寄せ商機を掴むアクションを積極的に展開しています。その先に目指すのは、発展するほど人も自然も豊かになる、持続可能な社会の実現です。株主の皆さまにおかれましては、この「アミタの価値のつくりかた」を何卒ご理解の上、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

アミタホールディングス株式会社
代表取締役会長 兼 CVO

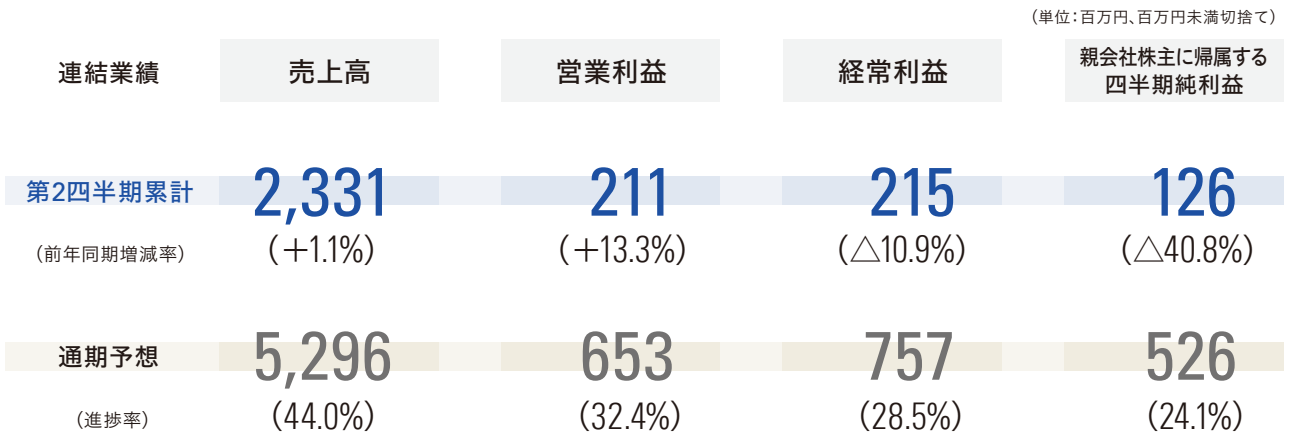
熊野 英介

アミタホールディングス株式会社
代表取締役社長 兼 CIOO

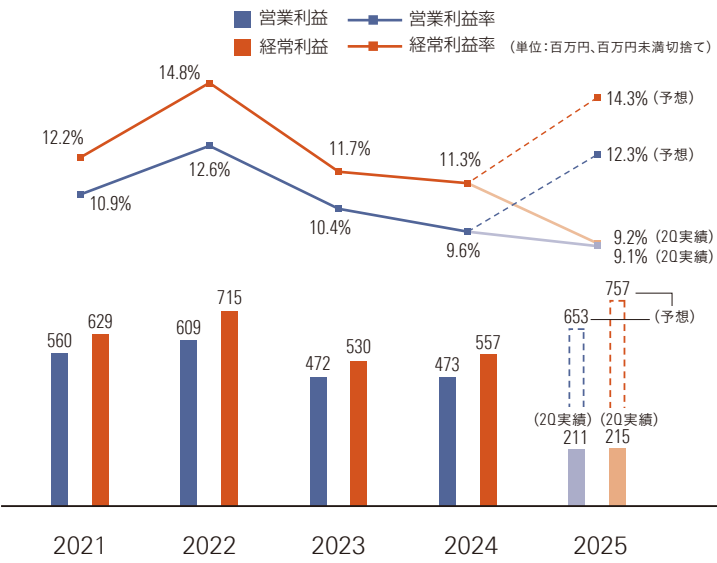
末次 貴英

2025年度第2四半期 アミタグループ業績状況

サステナビリティ経営に向けた移行支援サービスへのニーズを捕捉し、売上高・営業利益は前年同期比プラスで推移。期末配当(5.00円/株)および通期予想は変更なし。



■ 営業利益・経常利益・営業利益率・経常利益率の推移



通期予想達成に向けた下期の取り組み

当社グループの業績は、下期に売上として計上されるサービスが多く、下期偏重の傾向があります。加えて今期においては、計画的に以下の重点施策を実行し、業態改革の完遂に向けた基盤整備の完了と通期予想の達成と、2026年以降の成長フェーズへの移行を確実に進めます。

- インバウンドマーケティングによる、自社サービス「Cyano Project」および協業5社の連携による新サービス「Circular Co-Evolution」の提供強化
- 国内でのサーキュラーマテリアル事業における循環資源の製造強化、シリコン再資源化の拡充
- 環境認証審査サービスにおける新規受注の獲得
- サーキュラーリンクス(株)でのICT・BPOサービスの営業強化
- マレーシアでのサーキュラーマテリアル事業における営業強化

2025年12月期
第2四半期決算の詳細

決算短信



半期報告書



補足資料



AMITA の MISSION

人と自然が経済発展の道具にされた「近代の誤作動」を正し、
発展すればするほど自然資本と人間関係資本が増加する
持続可能な「エコシステム社会」の実現を目指します。

アミタの事業紹介

「暮らせば暮らすほど地域が豊かになる」
新しいコミュニティデザイン

めぐるスタイル MEGURU STYLE

詳細は年次報告書へ
戦略：P.22-24 実績：P.39

企業のサステナビリティ経営への
移行戦略支援&実行支援

シアノプロジェクト Cyano Project

詳細は年次報告書へ
戦略：P.18-21 実績：P.34-36

森林と海を守る 環境認証審査サービス

詳細は年次報告書へ
戦略：P.25 実績：P.37

循環技術を世界へ 海外事業

詳細は年次報告書へ
戦略：P.26-27 実績：P.38

エコシステム社会とは？

生態系のように、絶えず変化しながら全体最適を保つ社会。
その実現の鍵は、資源や価値を無駄なくめぐらせる「循環」と、
誰一人取り残さない「包摂」の仕組みです。

詳細は年次報告書『アミタの価値のつくりかた』をご覧ください。



焼却を限りなくゼロに

社会背景

焼却・埋め立て、化石燃料に依存した
従来型のごみ処理は環境負荷が高い

提供サービス

自治体向け資源循環ソリューション

生ごみや使用済みおむつを域内で資源化する
「MEGURU COMPLEX」の開発・提供



人と資源がめぐるコミュニティへ

社会背景

人口減少、少子高齢化、雇用縮小、
社会保障費の増大等、地域課題の深刻化

提供サービス

互助共助コミュニティ型資源回収ステーション

豊かな関係性と資源循環を同時実現する
地域のコミュニティスポット「MEGURU STATION®」の開発・提供



サステナビリティ経営への移行をサポート

社会背景

世界的な調達・供給ネットワークの不安定化、
少子高齢化による国内市場の縮小

提供サービス 〈コンサルテーション・ソリューション〉

サステナビリティ戦略立案・事業開発の統合支援

顧客企業のビジネスモデル変革、安定的な原料調達設計、社員教育
など、ニーズに合わせたカスタマイズサービスの提供



限りある資源を循環利用

社会背景

地下資源の枯渇、調達リスクの増大による
サーキュラーエコノミーの加速

提供サービス 〈オペレーション〉

循環資源製造 産業廃棄物の100%再資源化

廃棄物を原料とした、地下資源に代わる
良質な循環資源(サーキュラーマテリアル)の製造・提供



環境管理業務の高度化を推進

社会背景

法令対応、人手不足の深刻化、
DX化の加速

提供サービス 〈オペレーション〉

企業のサーキュラー化・脱炭素化支援

廃棄物管理システムの導入支援、一連業務のアウトソーシング提供



環境認証で持続可能な選択を

社会背景

森林破壊、過剰漁獲等による自然資本の劣化

提供サービス

環境認証審査サービス

木材や水産物等を対象とした国際エコラベルの認証・審査の実施



独自技術でアジアに進出

社会背景

世界的な環境問題・地政学リスクの増大、
アジア圏の経済発展等による循環ニーズ
の拡大

提供サービス

海外事業

各国政府・現地大手企業との連携による、マレーシア・インドネシア
等での循環型事業の展開



2025年9月までのTOPICS

SMFLやアビームコンサルティング等、 5社連携による新サービスを開始！

6月30日より、アマタ(株)、サーキュラーリンクス(株)、三井住友ファイナンス&リース(株)、アビームコンサルティング(株)、(株)GXコンシェルジュの5社による協業体制で、企業向けの新サービス「Circular Co-Evolution」を提供開始。

アマタが有する概念実証(PoC)支援やBPOサービスの強みに、各社の専門性やネットワークを掛け合わせ、企業のサステナビリティ経営を包括的に支援します。

AMITA

Circular LinX

SMFL

三井住友ファイナンス&リース

ABeam Consulting®

GX CONCIERGE.



プレスリリース



公式サイト

経営者向けセミナーを連続開催

7月23日より、大企業の経営者を対象に、時代の見立てをテーマとする「不確実な時代の未来指針を示す羅針盤セミナー」(全4回)を開始。全回会場満席、オンラインも平均190名申し込みと盛況。

並行開催する実務担当者向け「サステナビリティ経営実現セミナー」(全3回)との連動により、関係性強化と顧客開拓、計画的なサービス受注へとつなげていきます。

【羅針盤セミナーテーマ】

第1回:資本主義の羅針盤

第2回:時代の羅針盤

第3回:未来の羅針盤

第4回:総括
| 経営哲学の羅針盤 |



羅針盤セミナー
特設サイト



第1回
開催レポート

生成AI時代に対応する DX/価値創出人財の育成

生成AIの急速な発展はあらゆる業界のビジネスモデルにパラダイムシフト(枠組みそのものの大転換)をもたらします。当社はAIによる業務効率化はもとより、関連技術を活用した新サービス開発を担うDX人財や、AIに代替されない「共感・信頼・関係性」といった価値を創出できる人財の育成に積極投資しています。2026年にはAIを活用した具体サービスの提供開始を予定。



会社概要

会社名	アマタホールディングス株式会社
本社	〒604-0847 京都府京都市中京区烏丸通押小路上ル 秋野々町535番地
上場市場	東証グロース 証券コード 2195
資本金	483,560,300円
従業員数	260名(パートナー社員・派遣社員等を含む)
URL	https://www.amita-hd.co.jp/

未来デザイン通信 2025 秋

本誌は2025年9月30日時点のデータに基づき作成しています。
なお、決算報告については2025年6月30日時点のデータに基づき作成しています。

お問い合わせ先 アマタホールディングス株式会社 IR担当 E-mail: ir@amita-net.co.jp

アマタグループ
Webサイト



アマタグループ
IR情報

